

少年の翼研修生との意見交換会（概要）

令和 5 年 8 月 7 日（月）

9 : 15 ~ 10 : 00

北公民館会議室 1 号・2 号

【少年の翼事業とは】

川越市の中学生が北海道で研修、共同生活、現地中学生との交流、自然とのふれあいを通じて次代を担う者としての自覚を高め、川越のまちづくりを推進する青少年となることを目的に実施するものです。

市内公立中学校 21 校から推薦された生徒 44 名が北海道中札内村などで令和 5 年 8 月 22 日～26 日の 4 泊 5 日の日程で実施します。

【1 班】

① 自転車で左側通行しようと思っても市内は狭い道が多いように感じます。安全に走行できる「自転車専用レーン」がほしいです。

⇒自転車専用レーンを設置するためには少なくとも 10m を超えるような道路幅員がないと難しいため、市内では本川越駅前の道路など一部にしかありません。

川越は古い町割りで幅員 4m の道路も少なくないため、自転車が通行する空間を確保することは難しいと思いますが、自転車をよく利用する中学生から自転車専用レーンの設置に関する意見があったことを担当部局に伝えたいと思います。

② 自由にボール遊びができる公園を整備してほしいです。

⇒自由にボール遊びができる公園は、市内では市民グラウンドなど一部しかありません。特に、建物を建てることのできる区域である市街化区域では、その一角にボール遊びができるほどの広さの公園を設置するのはなかなか難しい面もあります。

私が小学生の頃は、放課後に小学校のグラウンドでボール遊びをした記憶がありますが、今は管理上の問題もあり難しいようです。

【4 班】

③ 理科室にはエアコンがなく、夏の時期はすごく暑くなっています。毎日使う教室なのでエアコンを整備してほしいです。

⇒以前、空調設備は学校に配備されていませんでしたが、昨今の酷暑を受けて川越市では令和元年度から小・中学校の普通教室に空調設備を導入し、現在はすべての普通教室に設置されています。

教育委員会も音楽室や理科室などの特別教室に順次整備することを考えていますが、小・中学校54校に導入するのは空調設備だけでなく電気を供給するキュービクルという設備の容量を見直す必要もあるため、時間とお金がかかってしまうことを理解してください。

④ 教室でクロームブックを使っていますが、Wi-Fi がつながりにくいので何とかしてほしいと思います。

⇒国のGIGAスクール構想を受けて令和2年度から各教室で端末が使えるようになりましたが、回線の容量に限度があり、アクセスが集中するとつながりにくくなることがあります。回線の増強などが可能かも含め、担当部局に伝えたいと思います。

【5班】

⑤ 子どもが伝統と触れ合うワークショップを再開してほしいです。以前は博物館や美術館で子どもたちが参加できるワークショップが開催されていましたが、現在は中止しているので再開してほしいと思います。

⇒新型コロナの感染症法上の5類移行後は、川越まつりなど様々なイベントも再開する予定ですので、博物館や美術館でのワークショップも再開できるよう担当部局に伝えたいと思います。

ただし、すでに施設での年間のスケジュールが決まっている場合もあるので、令和5年度は実施できないこともあるかもしれません。

⑥ 先生はいろいろな仕事に追われて生徒と関わりあう時間が取れていないように感じます。先生と生徒が触れ合う時間を増やしてほしいと思います。

⇒何かイベントを開催して先生と生徒が触れ合う時間を設けるよりも、休み時間など日々の時間の中で子どもたちとの関わり合うことがよいのではないかと思います。

先生が処理しなければならない業務が多いのは事実です。世の中でも労働者の労働時間や負担を減らす「働き方改革」が求められています。

教育委員会では、パソコンを導入して手書きの作業を減らしたり、業務の効率化を図っています。引き続き、先生の負担を減らす取組を進める必要があると思います。

【6班】

⑦ 市内に住んでいるにもかかわらず、川越の歴史や文化について知ることが少ないように思います。今回は博物館での研修を通じて川越の歴史を知ることができましたが、このような機会を増やしてほしいと思います。

⇒職員から専門的な説明を受けられてよかったと思います。

新型コロナの影響で校外学習の機会が少なかったと思いますが、今後はこうした機会も増えると思います。

今回体験された歴史・文化以外にも、例えば環境や財政などの市役所の仕事に関しても、皆さんの学校に出向いて事業を説明したり疑問に答えるといった「出前講座」もできると思います。

⑧ ごみ集積所のごみが山積してあふれ、通行に支障をきたす場所があります。出来れば、ごみ集積所の場所を見直してほしいと思います。

⇒ごみ集積所はにおいや管理上の問題もあり、簡単に決められない問題です。集積所の場所も、地域の人たちや市役所の職員が話し合っただけで決められたものなので、他の場所に移すことは関係する皆さんの合意がないとなかなか難しい問題だと思います。

【2班】

⑨ 市内にショッピングモールがあるとよいと思います。駅中にも店舗が増えるとまちが活性化したいと思います。

⇒店舗が増えるとまちの賑わいが増えますね。例えば富士見市にあるショッピングモールは週末多くの人でにぎわっていますが、あの施設も完成までに長い年月がかかっていると思います。

あのような大きな事業では、土地の利用方法や事業者の誘致などにも多くの市の職員が関わり、継続して取り組む必要があります。

市役所でも、将来に向けてさまざまな事業が進行中です。

⑩ 午後10時以降も学校から貸与されているクロームブックを使えるようにしてほしいと思います。塾から帰って課題に取り組もうとするとアクセスできなくなっています。

⇒クロームブックの使用時間を午後10時までとしている理由は、児童生徒の生活リズムが崩れないようにするためです。今は小・中学生が午後10時以降アクセスできなくなる時間設定となっていますが、一律的な制限が適切かどうか見直しを検討したいと思います。

【3班】

- ⑪ 本川越駅の「すくすくかわごえ」には中学生や高校生が学習できるスペースがありますが、各中学校区にも勉強するスペースがあったらよいと思います。

⇒ご意見のとおり本川越駅近くの中・高校生は利用できるものの、他の地域の生徒の皆さんは利用しにくいと思います。

一部の地域を除き中学校区には公民館が設置されていることから、例えば、空いている時間帯の公民館の貸し部屋を開放し、中・高校生が勉強できるようなスペースを確保できるか教育委員会と調整したいと思います。

【追加質問】

- ⑫ 友人の中でもヤングケアラーとして兄弟や祖父母の世話をしている人がいます。このような生徒が世話している兄弟と一緒に過ごし学習できるような場所を設けてほしいです。

⇒昨年度川越市ではヤングケアラーの実態調査を実施し、皆さんにも学校を通じてご協力いただきました。中には、祖父母などの世話に多くの時間を費やさざるを得ない生徒さんもいるという実態を把握することができました。

どのような場所がふさわしいのかは今後考えていく必要があると思っています。

- ⑬ 囃子連に加入しており、川越まつりでは山車に乗ることがありますが、山車を運行していると観光客が近寄ってきて危険を感じます。

駅前周辺は警備員が配置されているようですが、仲町交差点などでは警備員が少なく山車を曳く町内の方が観光客に近づかないよう呼び掛けている状態です。特に、夜間は警備員が必要なのではないかと思います。

⇒今年の川越まつりは多くの方が集まると思います。動員できる警備員も人手や予算の関係から限りがあると思いますが、担当部局に伝えたいと思います。